

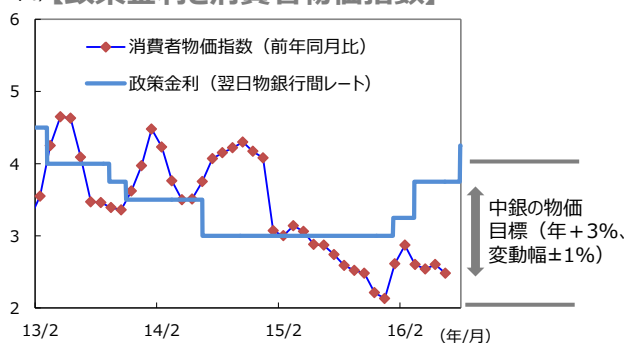
今日のトピック

メキシコ中銀が4カ月ぶりの利上げで通貨を下支え

ポイント1 メキシコが0.50%利上げ 市場予想を上回る利上げ幅

- メキシコ銀行（中央銀行、以下中銀）は6月30日に、政策金利（翌日物銀行間レート）を0.50%引き上げ、4.25%とすることを発表しました。0.50%という幅は市場の見込みよりも大きなものとなりました。
- 中銀は、今年2月に緊急利上げを行いました。今回の利上げは、その時同様、通貨安に歯止めをかけるためです。金融政策委員会開催前の6月23日に、英国のEU（欧州連合）離脱の国民投票が行われ、通貨安が進んでいたことも、中銀の意思決定に作用したと見られます。

(%)【政策金利と消費者物価指数】



(注) 政策金利は2013年2月1日～2016年6月30日。
消費者物価指数は2013年2月～2016年5月。
(出所) Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 通貨安を警戒 通貨ペソは利上げを受け上昇

- 中銀は、外部環境が悪化しており、この動きが将来の物価情勢に悪影響を与えているとしています。ここでの外部環境とは、通貨ペソ安を指していると考えられます。今後もペソの動きや米国の金融政策を注視しながら、必要に応じて利上げを行うと見られます。
- 通貨ペソは、大幅な利上げを受けて上昇し、6月30日は、1米ドル＝18.28メキシコペソ、1メキシコペソ＝5.646円となりました。

(円/ペソ) 【メキシコペソ】 (ペソ/米ドル)



(注) データ2015年2月1日～2016年6月30日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 財政健全化姿勢と適切な金融政策がペソを下支え

- 中銀は、政府が財政健全姿勢を維持する中、適切な金融政策を実施し、実際のインフレや将来のインフレ期待を抑えることが、金融市場の安定に寄与するとの考えを示しています。
- 今後も世界の金融市場は、景気や政治面への不安感などにより、不安定な局面を迎える可能性があります。メキシコの中銀と政府が協調して物価上昇抑制や財政再建に取り組む姿勢は、ペソの下支え要因になると思われます。

ここも チェック!

2016年 6月29日 最近の指標から見る米国経済（2016年6月）
2016年 2月18日 メキシコ中銀が緊急利上げ、政府は歳出削減策を発表

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。